

Q「骨盤臓器脱」とはどんな病気なのでしょうか？
女性の体を筒のようなものと考えると、一番底の部分を支えているのは、筋肉と靱

命に関わる病気ではないものの、放っておくと、頻尿や切迫性尿失禁、陰部の不快感など、生活の質の低下に繋がります。この「骨盤臓器脱」について、常磐病院 泌尿器科の常勤女性医師・小内友紀子先生に伺いました。

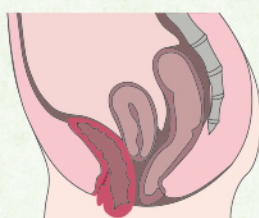
女性特有の疾患である「骨盤臓器脱」。これは、加齢や出産などで骨盤を支える靱帯が弱まり、子宮や膀胱、直腸などが腔内へ落ち込んでしまう疾患です。



帯になります。妊娠や出産、加齢などでこの支えが緩んだり、切れてしまうことで膀胱や子宮、直腸が下がるのが骨盤臓器脱です。

Q 骨盤臓器脱の診察の流れについて教えてください

- 1 問診**
診察室でお話を伺いながら、現在の症状やお困りごとなどを伺います。
- 2 検査**
診察台でこの臓器がどのくらい下がっているか、確認いたします。咳やいきみをしていただきます。他にMRIや超音波検査、尿流量検査も行うことがあります。



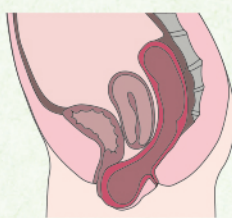
膀胱脱

- ・頻尿・残尿感
- ・尿失禁・排尿困難



子宮脱

- ・下着に出血やオリモノがつく
- ・挟まった感じ
- ・引っ張られる不快感



直腸脱

- ・便意頻回
- ・残便感
- ・排便困難

骨盤臓器脱の種類

日本泌尿器科学会専門医、指導医
日本透析医学会専門医、指導医
日本排泄機能学会専門医
透析バスキュラーアクセスインターベンション治療専門医
透析バスキュラーアクセスインターベンション血管内治療医

平成 7年3月 東京女子医科大学 卒業
平成 7年4月 東京女子医科大学腎センター外科系入局
平成18年3月 医学博士号取得
平成23年4月 東京女子医科大学泌尿器科医局長
平成29年1月 東京女子医科大学 講師
平成30年4月 ときわ会常磐病院



2 手術
従来法手術、メッシュを使用した手術（経膈的）、ロボット補助下仙骨靱帯固定術などがあります。全身麻酔、1週間前後の入院となります。

1 保存療法
症状や脱出の具合が軽い場合、患者様が治療を希望されない場合に選択します。骨盤底筋体操の指導や重いものになるべく持たない、便秘を治療するなどを行います。希望があれば、リングベッサリというドーナツ状の治療器具を腔内に挿入し、脱出の症状を軽減させることもできます。

Q 骨盤臓器脱の治療法について教えてください



手術支援ロボット「ダヴィンチ」でロボット補助下仙骨
脛固定術をおこなう婦人科の玉田裕医師。



- ① 従来法手術
膀胱瘤に対する膈前壁補強術、子宮脱に対する子宮摘除術、膈閉鎖術などが該当します。
- ② メッシュを使用した手術
(経膈的)
膈の壁を切開して、医療用のメッシュを用いて膀胱瘤を持ち上げる手術です。
- ③ ロボット補助下仙骨脛固定術
医療用ロボットを用いて腹腔鏡の技術を使用して、通常は子宮の一部切除し、下がっている膀胱や子宮に医療用メッシュを縫合し、仙骨という骨の前にある膜に縫い付ける手術です。婦人科の玉田裕先生と合同で手術をおこなっています。



上記の手術の他に、間に合わずに尿がもれてしまう、切迫性尿失禁に対するボトックス治療や仙骨神経刺激、咳やくしゃみで尿がもれてしまう腹圧性尿失禁に対する尿道スリング手術もおこなっています。

いわきの女性患者さんのお役にたつことが、私の使命だと思っています。

骨盤臓器脱や尿失禁は命には関わりませんが、生活の質(QOL)を大きく下げる病気です。一番若いのは今です。手術を終えて、外來にきた患者さんの笑顔を見ると、お役にたてて本当に良かったと思います。軽いかもしれないと思っても、ぜひお気軽に外來に相談にいらしてください。



澤野豊明医師(左)と大阪国際がんセンター
消化器外科の小鹿山陽介医師(右)

1月28日(土)に、いわき市の広報テレビ番組「ひと!まち!いわき!!」で当日の様子が放送されました。右のQRよりご覧ください。



常磐病院は、今後も未来を担う医療人材の育成に、積極的に取り組んで参ります。

2022年12月27日(木)、福島県立磐城高等学校にて、磐城高校の1~2年生を対象とした「縫合体験教室」がおこなわれました。

本教室は、将来医師を目指す学生を育成するため、いわき市と磐城高校が企画。今回は29名の生徒達が参

TOP1+
02

磐城高校で「縫合体験教室」

「未来を担う医療人材の育成へ」

加しました。

講師は、当院外科副部長の澤野豊明医師と、磐城高校の卒業生で「大阪国際がんセンター」消化器外科の小鹿山陽介医師が担当。開腹手術・内視鏡手術・ロボット支援手術などについての講義や、

TOP1+
01

発熱外来棟 診療の流れ

「感染拡大防止に向けて」

常磐病院では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「発熱外来棟」を設置しました。発熱などの症状がある方は、以下の流れで診療をおこないます。

① 事前予約

熱などの症状がある方は、予めお電話(☎0246-81-5522)にて、発熱外来の受診予約をおこなってください。

② 診察当日

常磐病院に到着しましたら、入館せず「発熱外来」前の駐車場に車を止め、電話(☎024

6-81-5522)に到着したことをお伝えください。

③ 診察方法

車の中、または「発熱外来棟」の診察室にて診療をおこないます。看護師の指示に従い受診してください。



公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日~金曜日 8:30~17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。

